

# 白鷺

広田中 学校だより

第15号 1・10

文責 高橋正伸

## 1月

★自転車に乗るときはヘルメットを必ず着用しましょう!  
★手洗い、うがいを忘れずに!

【今後の予定】  
★1月10日(水) 生徒会引継ぎ式  
★1月16日(火) 部活動体験  
★1月19日(金) 新入生保護者説明会

あけましておめでとうございます!

幸多き新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

新年もどうぞよろしくお願いいたします。

◆2024年を迎えました。例年になく温かいお正月でしたが、それぞれのご家庭で清々しく新年を迎えられたことと思います。

さて、いよいよ3学期がスタートしました。冬休みはいかがでしたか。健康面では、インフルエンザの感染が気になるところですが、今後はこれまで身に付けた手洗いやうがい等の生活習慣を怠りなく生活しながら健やかな時間を過ごしてほしいと願っています。

まずは、広田の子どもたちが、大きな事故もなく、元気に3学期の始業式を迎えることができたことをとてもうれしく思います。

中学生向けの2学期の終業式では、これまでを振り返り、「継続することの大切さ」について話をしました。新年を迎え新たな志を抱いたり、これまで継続してきたことをさらにバージョンアップしたり、いろいろな実践の形があると思います。今自分自身の成長につながる目標を掲げ、まずは少しずつ行動に移してみる事が大切です。

◆3年生は、まもなく受験の時期がやってきます。この時期、ほとんどの受験生は、やらないといけないことが気になりあせることもあるかもしれません。そんな不安を拭いさるためには、最後まで諦めずに今できる事に精一杯取り組むことだと思います。「自分ができるとは、やった」と自分に言い聞かせられるようにして当日の試験に臨んでほしいです。そして、義務教育最後の中学校生活のまとめとして、今後の自分の生き方についても考えていくことになりそうです。

◆教職員も一緒に考え、共に進んでいきたいと考えています。今年も引き続き、地域や保護者の皆様のご協力ご支援をよろしくお願いいたします。

### ★子どもはみんな、違うんだ

子どもは、成長の設計図を持っていない  
子どもは、その子の速さで伸びる  
子どもは、その子の時間感覚で育つ  
子どもは、その子の図案で実る  
子どもは、その子の歩みで学ぶ  
子どもは、その子の資質で生きる  
子どもは、その子の頭で考える  
子どもは、その子自身の人生の役割を果たす

子どもはみんな違うんだ  
子どもを励まそう  
自分を大事にするように  
人との違いを生かすように  
全力でぶつかると  
よい実を結ぶように  
愛の心を感じるように  
この世の違いを認められるように  
命を敬うように  
確かな未来をつかむように

忘れないでほしい  
その子は、この世にたった一人しかいないのだ  
子どもは違う  
一人ひとり、みんな違う  
そんな子どもがいるからこの世にすばらしい違いが生まれる

ドロシー・ロー・ノルト博士  
「子どもが育つ魔法の言葉」より

※アメリカの教育学者で、「子は親の鏡」という著書でも著名な方です。

### ★広田地区「鬼火炊き」

新年7日、広田地区の鬼火焚きが行われました。お札や正月飾りを焼いて、無病息災を願う等の意味があります。当日は竹等で組んだやぐらに正月飾り等が添えられました。火がつけられ、やぐらが燃え上がり、中の竹がバチバチと大きな音を立てながら、災難や悪霊を追い払い、幸福を呼び寄せてくれるような光景になりました。国内では能登半島における震災や航空機事故の発生等、重苦しい新年のスタートになりました。が、広田地区の子どもたち、地区の皆様には変わらず、心より願っております。



「帰宅後、30分の取組!!」

～身支度を整え、机につくという大切な習慣づくり～

読解力 向上  
UNICORP プロジェクト